

平成 27 年 3 月 16 日

各 位

会 社 名 丸 三 証 券 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 祝 寿 彦  
(コード番号 8613 東証第1部)  
問 合 せ 先 企 画 部 長 武 藤 彰  
TEL 03-3238-2301

平成 27 年 3 月 期 の 期 末 配 当 予 定 並 び に 今 後 の 特 別 配 当 の 実 施 予 定 に 関 す る お 知 ら せ

当社は、平成 27 年 3 月 16 日開催の取締役会において、以下の通り、平成 27 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当(平成 27 年 3 月 期 期 末 配 当)を行なうことについて決議しましたので、お知らせ致します。

また、平成 27 年 3 月 期 以 降、平 成 29 年 3 月 期 までの間、普通配当に加え、期末配当として特別配当を実施する方針を決議しましたので、併せてお知らせ致します。

1. 平成 27 年 3 月 期(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)期末配当の予定

	期末配当
基準日	平成 27 年 3 月 31 日
1 株 当 たり 期 末 配 当 金	普通配当 30 円 00 銭 特別配当 40 円 00 銭 ( 合 計 70 円 00 銭 )
期末配当金の総額	4,718 百万円
期末配当効力発生日	第 95 期 定 時 株 主 総 会 の 翌 日
配当原資	利益剰余金

(注 1) 本件は、平成 27 年 6 月下旬開催予定の第 95 期 定 時 株 主 総 会 での決議を条件と致します。

(注 2) 配当金の総額は確定していませんので、上限額を記載しています。

2. 平成 27 年 3 月 期(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)年間配当の予定

	中間配当		期末配当		年間計	
平成 27 年 3 月 期	普通配当	15 円 00 銭(実績)	普通配当	30 円 00 銭(予定)	普通配当	45 円 00 銭(予定)
			特別配当	40 円 00 銭(予定)	特別配当	40 円 00 銭(予定)
	合計	15 円 00 銭(実績)	合計	70 円 00 銭(予定)	合計	85 円 00 銭(予定)
平成 26 年 3 月 期 (ご参考)	30 円 00 銭		25 円 00 銭		55 円 00 銭	

### 3. 今後の特別配当の実施予定について

当社は上記の通り、平成 27 年 3 月期期末配当において特別配当(1 株当たり 40 円)を実施する予定ですが、今後普通配当に加えて、平成 29 年 3 月期期末配当まで、以下の通り特別配当を継続実施する方針です。

	1 株当たり特別配当額
平成 27 年 3 月期期末特別配当	40 円 00 銭 (前頁項番 1. の期末配当に含む)
平成 28 年 3 月期期末特別配当	40 円 00 銭
平成 29 年 3 月期期末特別配当	40 円 00 銭

(注 3)これらの特別配当は、各期終了後に開催される定時株主総会での決議を条件と致します。

#### 《特別配当実施の理由》

当社は平成 26 年 3 月期からは連結配当性向を 50%以上に引き上げ、株主の皆様への還元の方針を強化しております。

さらに上記の通り、今般当社は株主の皆様のご支援に感謝の意を表し、還元方針のさらなる強化の一環としまして、平成 27 年 3 月期末基準の配当より 3 期にわたり、期末の普通配当に加える形で、特別配当を実施することと致しました。

特別配当は、① 資産管理型営業へ舵を切ったことにより収益基盤が安定化してきたこと、② 株式信用取引に係る融資残高の減少から、株価急落時の評価損に対する返済資金を多額に備えておく必要性が薄れたこと等から、株主の皆様へ内部留保を還元させていただき、資本効率を高めようとするものです。

同時に、収益構造の一層の改善を図り、資本の効率化を進めてまいります。

### 4. 普通配当の方針の変更について

当社の普通配当に係る方針を、平成 27 年 3 月期期末配当より、以下の通り変更致します。

#### 《変更前の方針》

一定の経営成績(連結経常利益)が得られた場合に、それに相当する税金負担を控除した残額を分母として、連結配当性向 50%以上の配当を行なう方針

#### 《変更後の方針》

連結当期純利益を基準に、連結配当性向 50%以上の配当を行なう方針

以 上